

# 十勝における6次産業化の 現状と方向性

北海学園大学 経済学部 大貝ゼミA

佐藤将貴 大平悠人 田中祐也  
上田美月 本間怜奈

# 目次

1. 日本の農業の現状
2. 6次産業化とは
3. 十勝の農業の現状と課題
4. 十勝の6次産業化事例
5. 政策提言

# 1. 日本の農業の現状

# 日本の農業の問題

耕作放棄地の増加

食の安全性

後継者不足

食料自給率の低下

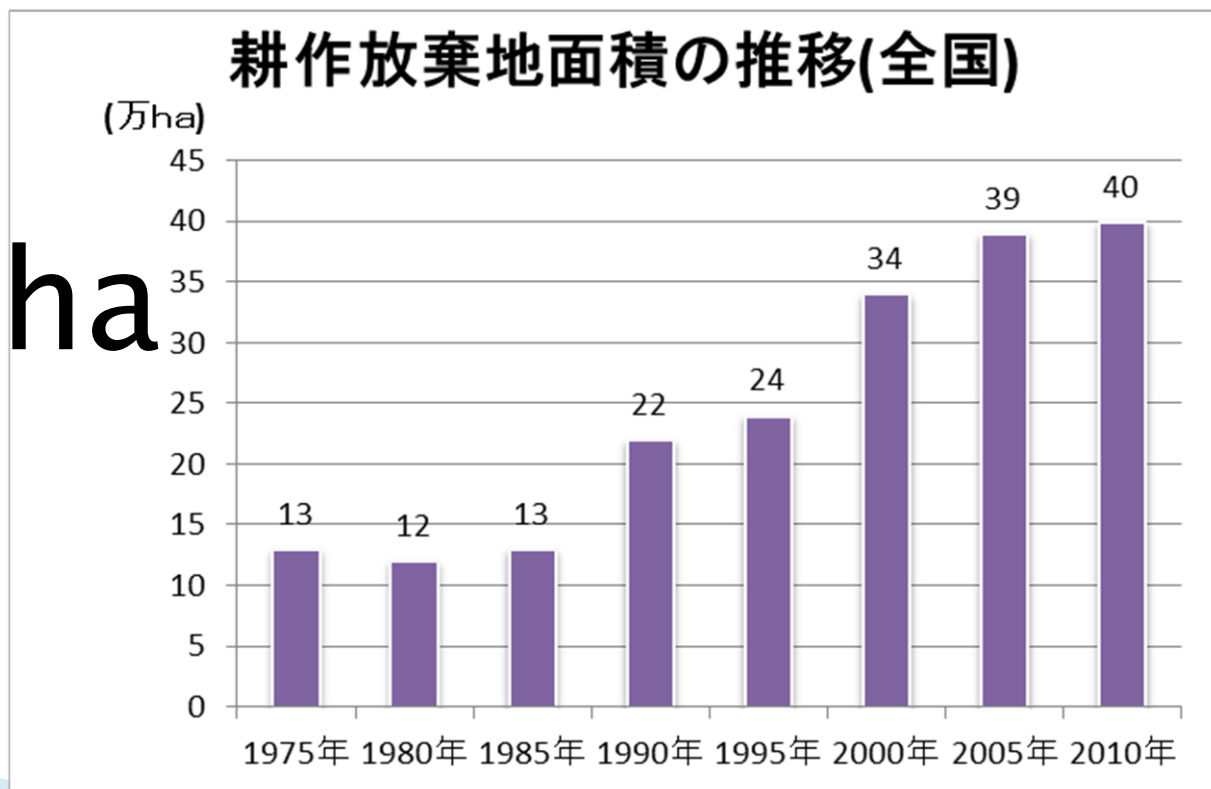
出典: 金丸弘美(2013)『実践! 田舎力 小さくても経済が回る5つの方法』 5~21頁  
田代洋一(2003)『新版 農業問題入門』 223~224頁  
植村振作・河村宏・辻万千子(2006)『農薬毒性の事典』三省堂 1~3頁

# (1) 耕作放棄地の増加

- 20年連続増加傾向にある
- 20年間で3倍以上増加



約39.6万ha



## (2)食の安全性

見えない海外畜産

BSE問題

毒入り餃子

消費者から見えない範囲での  
生産は安全なのか？

食中毒

品質表示  
偽装

賞味期限  
改ざん

工場の不衛生が原因

異物によるかさ増し

34年間も出荷調整

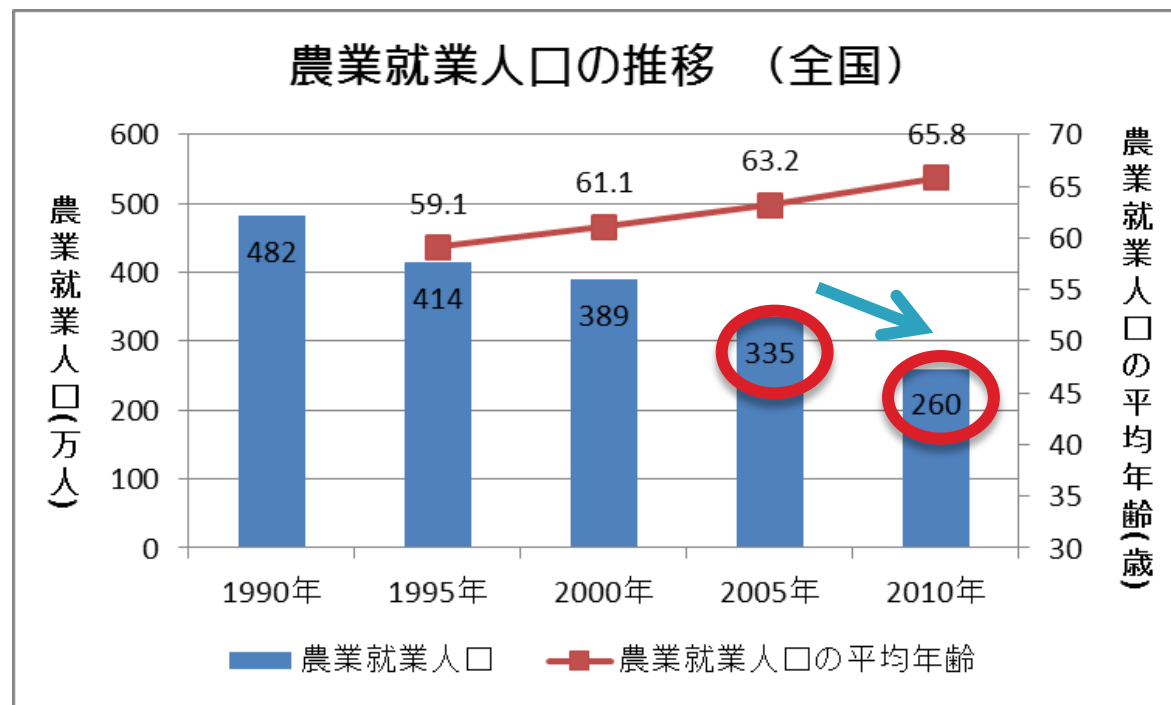
# (3) 高齢化による後継者不足

- 平均年齢は65.8歳、35歳未満は5%
- 農業人口、5年で22%減＝**減少率最大**

農業就業者人口の平均年齢

1990年	59.1歳
2005年	63.2歳
2010年	65.8歳

出所：農林水産省



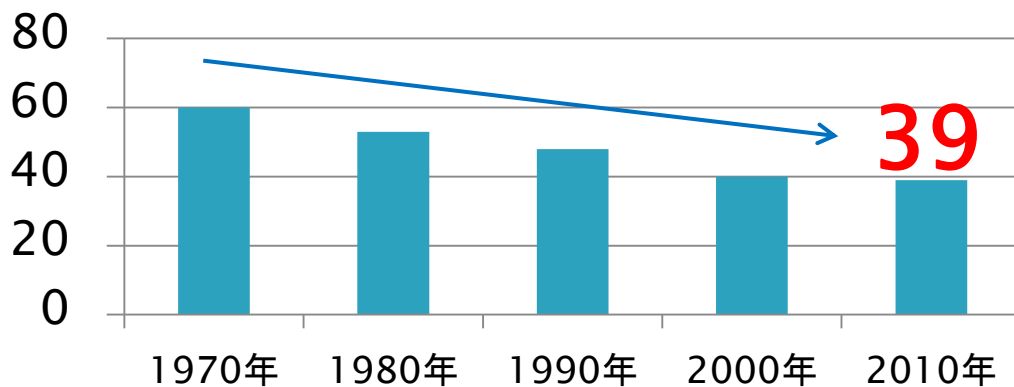
出典：「2010年世界農林業センサス結果の概要(暫定値)」

農業就業人口の平均年齢(歳)

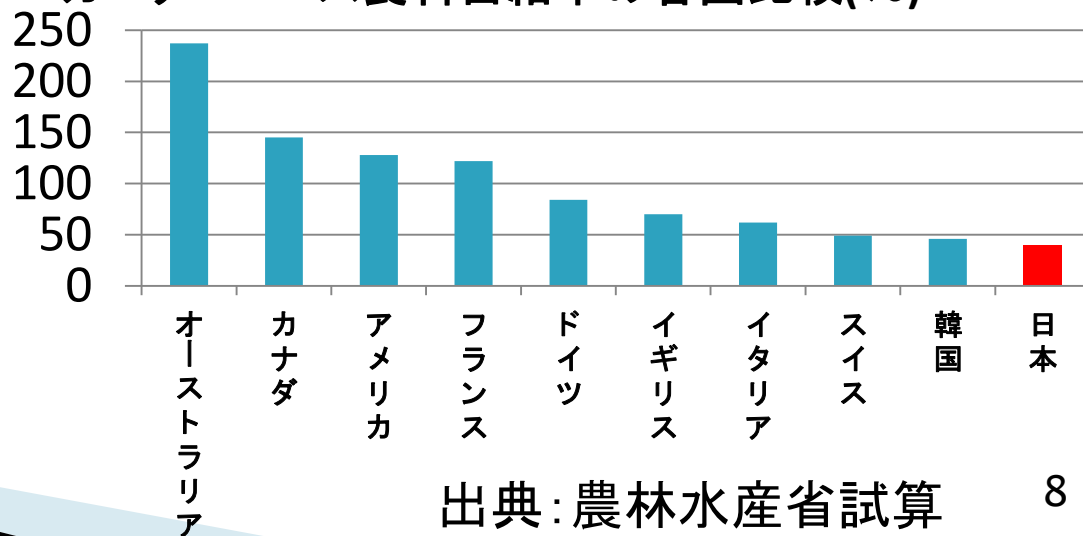
# (4) 食料自給率の低下

農業従事者の減少  
輸入品の増加

### 日本のカロリーベース食料自給率の推移 (%)



### カロリーベース食料自給率の各国比較 (%)





## 2. 6次産業化とは

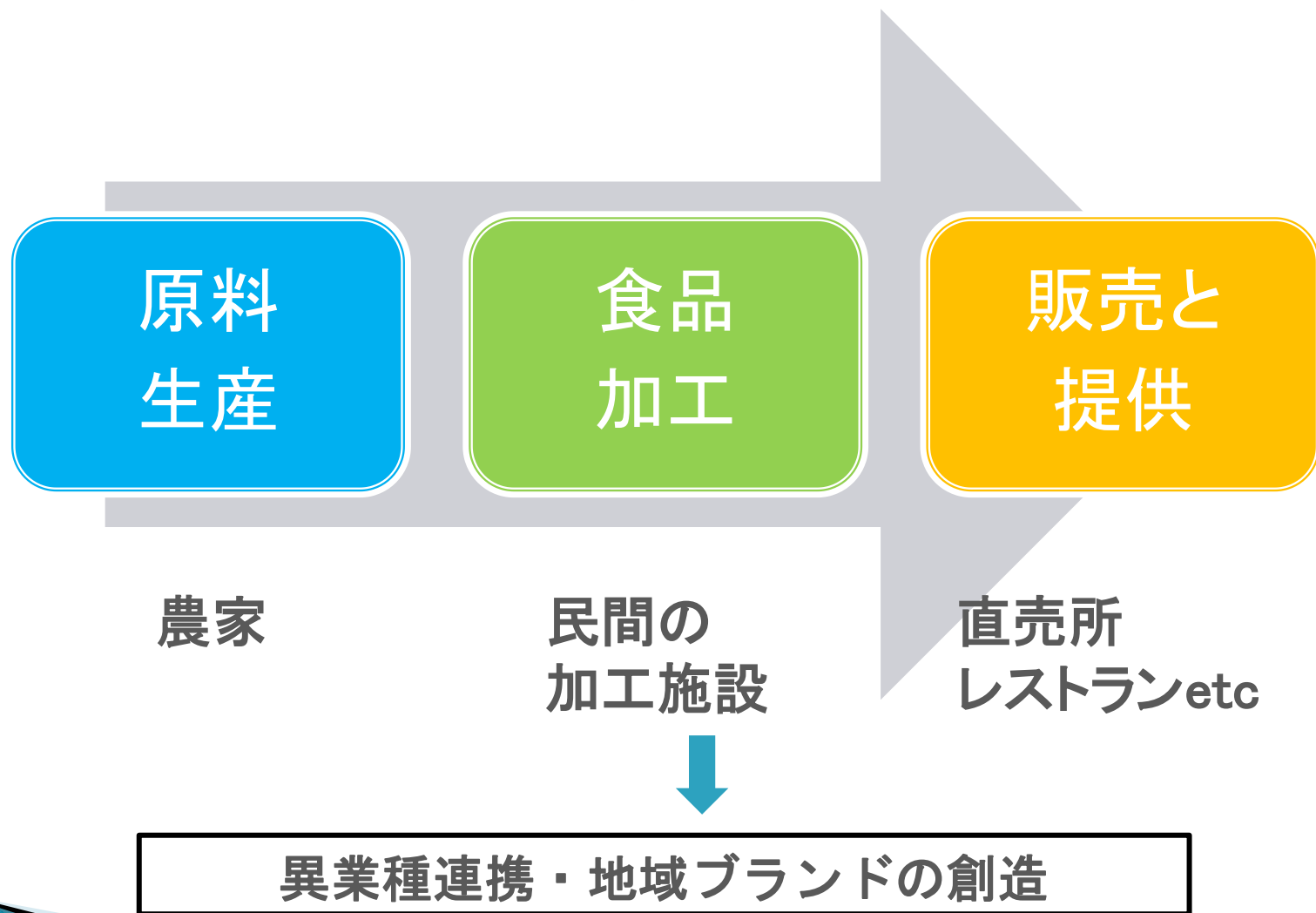
# 6次産業化とは

- ▶ 1994:今村奈良臣氏 「6次産業化」という概念を提唱開始
- ▶ 1998:『21世紀村づくり塾編』にて「6次産業化」を世に提唱



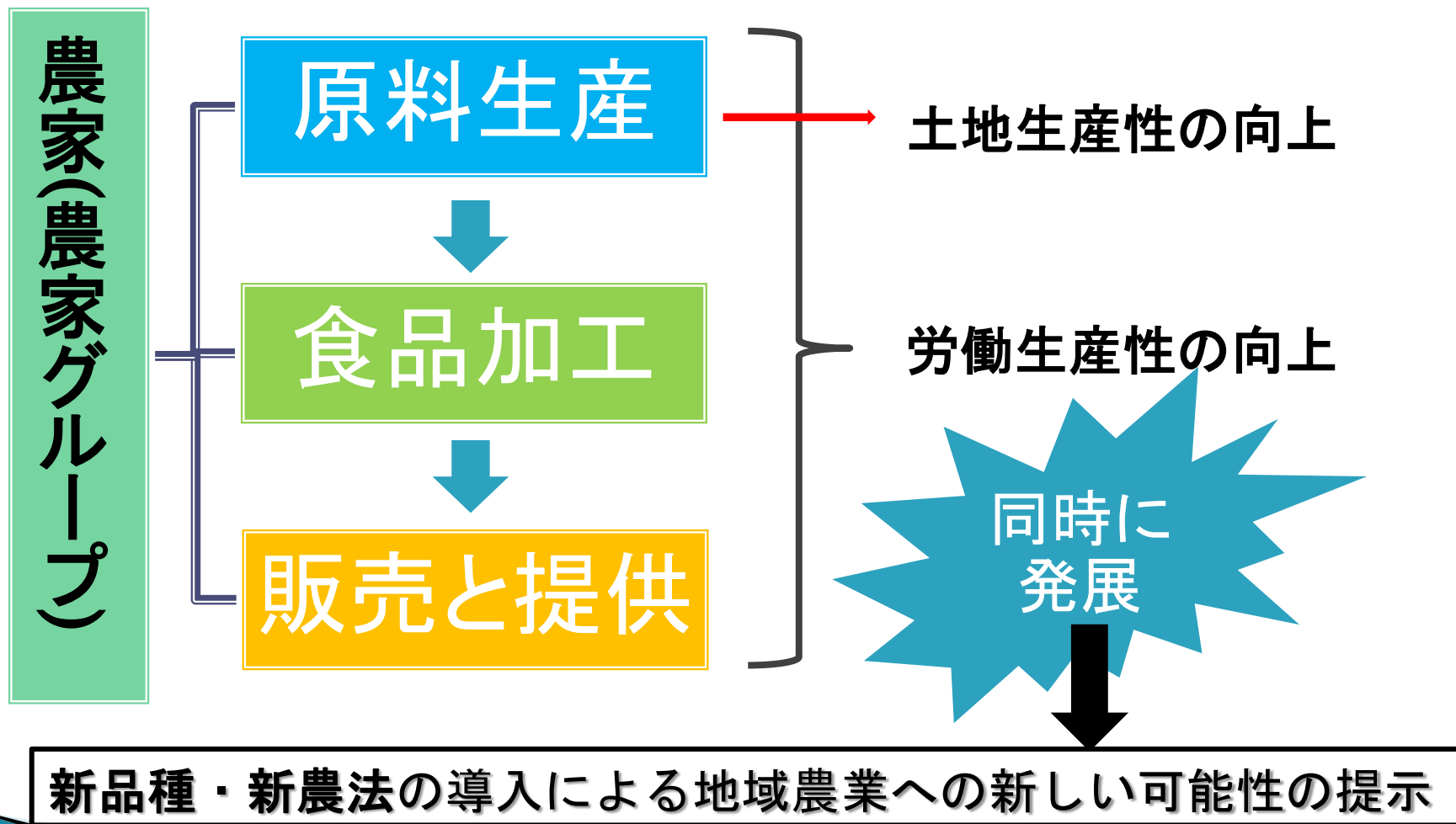
**基礎である第1次産業が重要！！**

# 水平的な6次産業化



出典: 榎平龍宏 (2010) 「農業の「6次産業化」推進に向けた地域農業の課題(その2)」  
『畑地農業』 第625号 4~7頁

# 垂直的な6次産業化



# 農山漁村の6次産業化

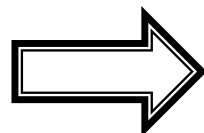
## 地域資源

- 農林水産物
- 経験・知識
- 自然エネルギー
- 風景
- 伝統文化



## 産業

- 食品産業
- 観光産業
- エネルギー産業



6次産業化

付加価値の創出

出典：鈴木宏一郎・澤田篤史・佐々木一誠（2011）

「パネルディスカッション 北海道における6次産業化と地域の活性化  
(特集 6次産業化)』『農家の友』第578号 29～30頁

# 3. 十勝の農業の現状と課題

# 十勝の概要



## 十勝

面積: 10,831.24km<sup>2</sup>(平成23年)

人口: 349,542人(平成25年)

市町村数: 1市16町2村

## 札幌

面積: 1,121.12km<sup>2</sup>(平成25年)

人口: 1,937,352人(平成25年)

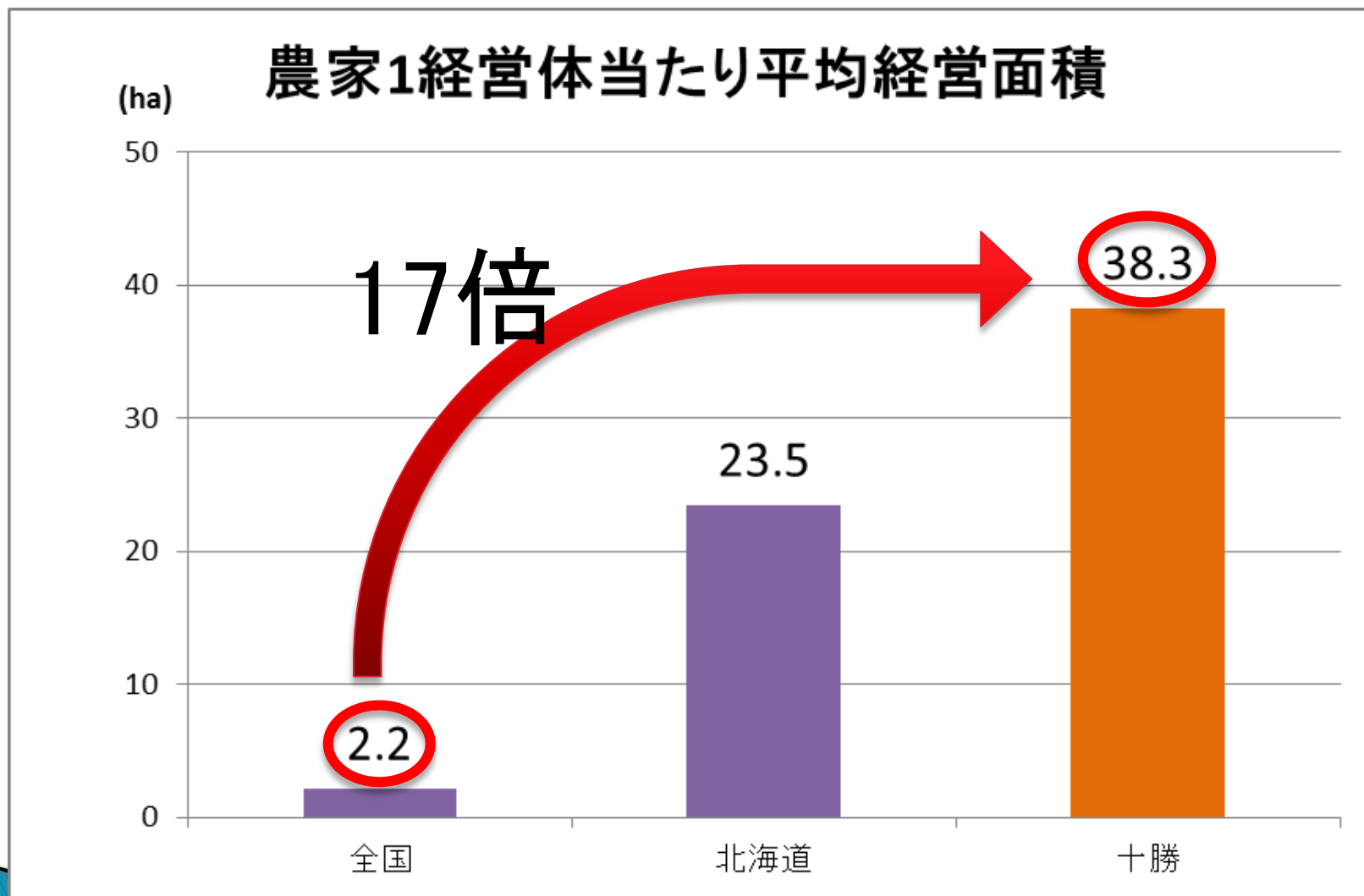
出典: 農林水産省

# 十勝の農業の特徴





# 広大な経営面積

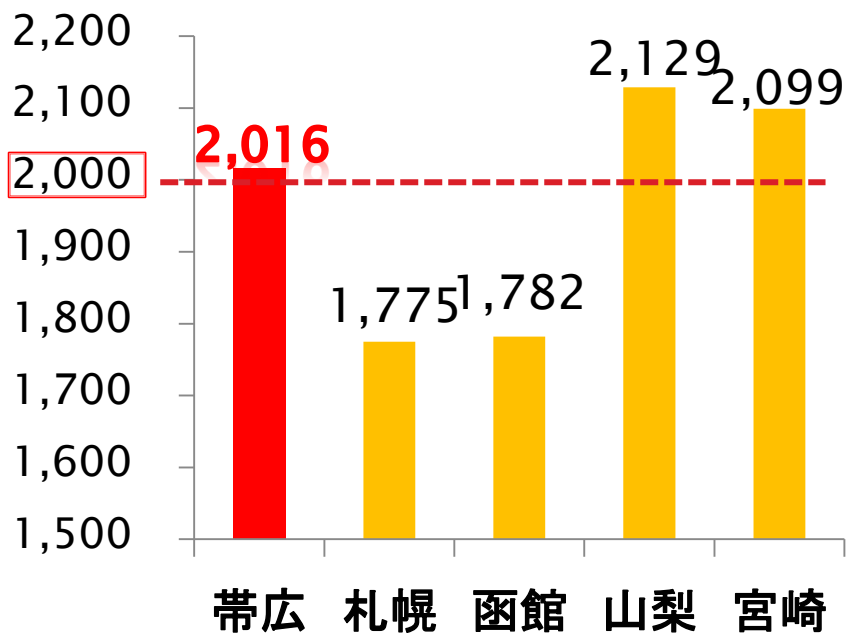


# 恵まれた自然環境

年間日照時間が2,000時間超

昼夜の寒暖差が激しい

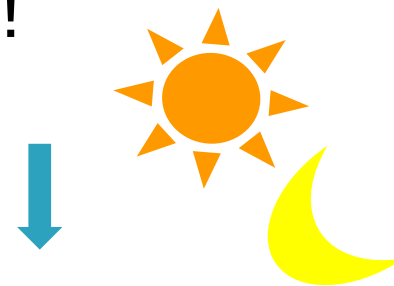
年間日照時間 (単位: 時間)



※1971年～2000年の平均値(気象庁データ)

出典: 帯広市・宮崎県HP

- ▶ 帯広市の気温の日較差は20～30℃!

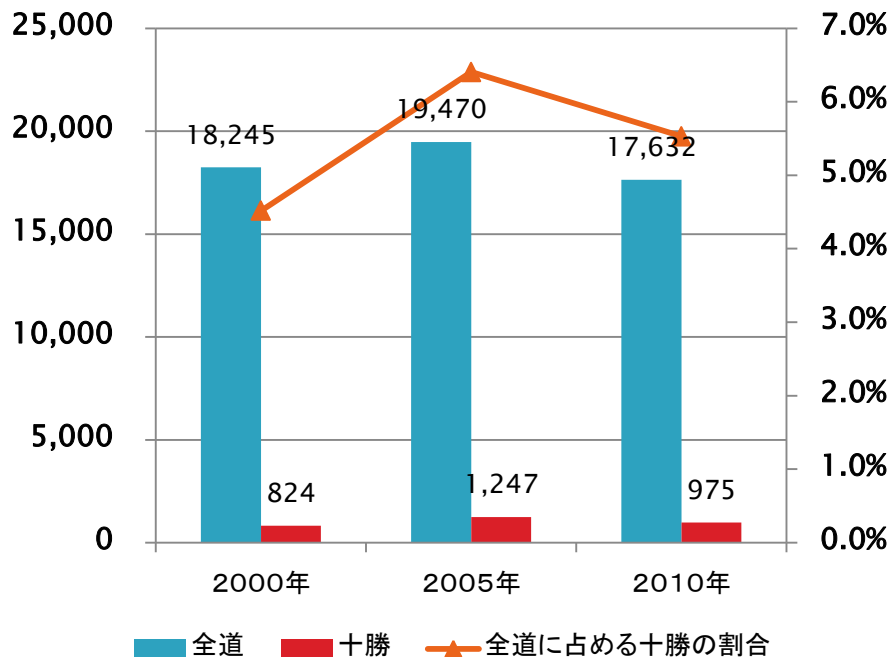


農作物の生育に  
良い影響をもたらす!

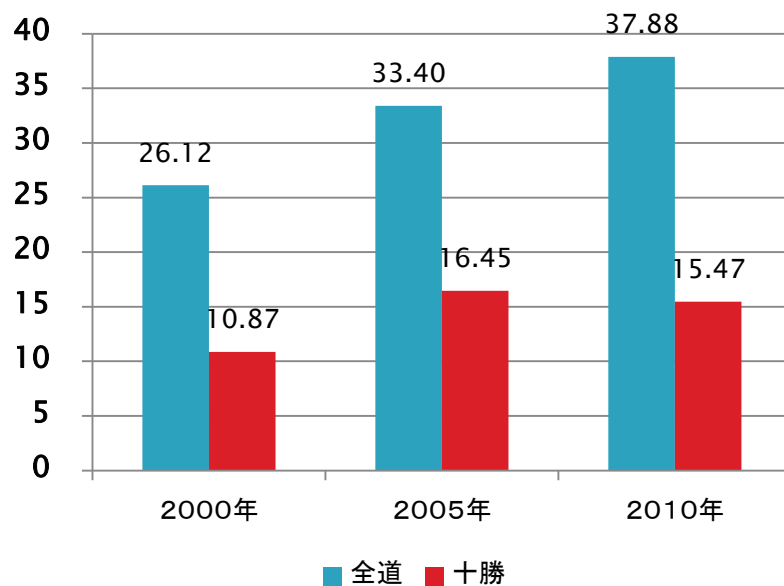
出典: 帯広市都市景観基本計画  
山形クラブHPより

# 耕作放棄地が少ない

## 耕作放棄地面積 (ha)



## 一人あたりの耕作放棄地面積 (ha)

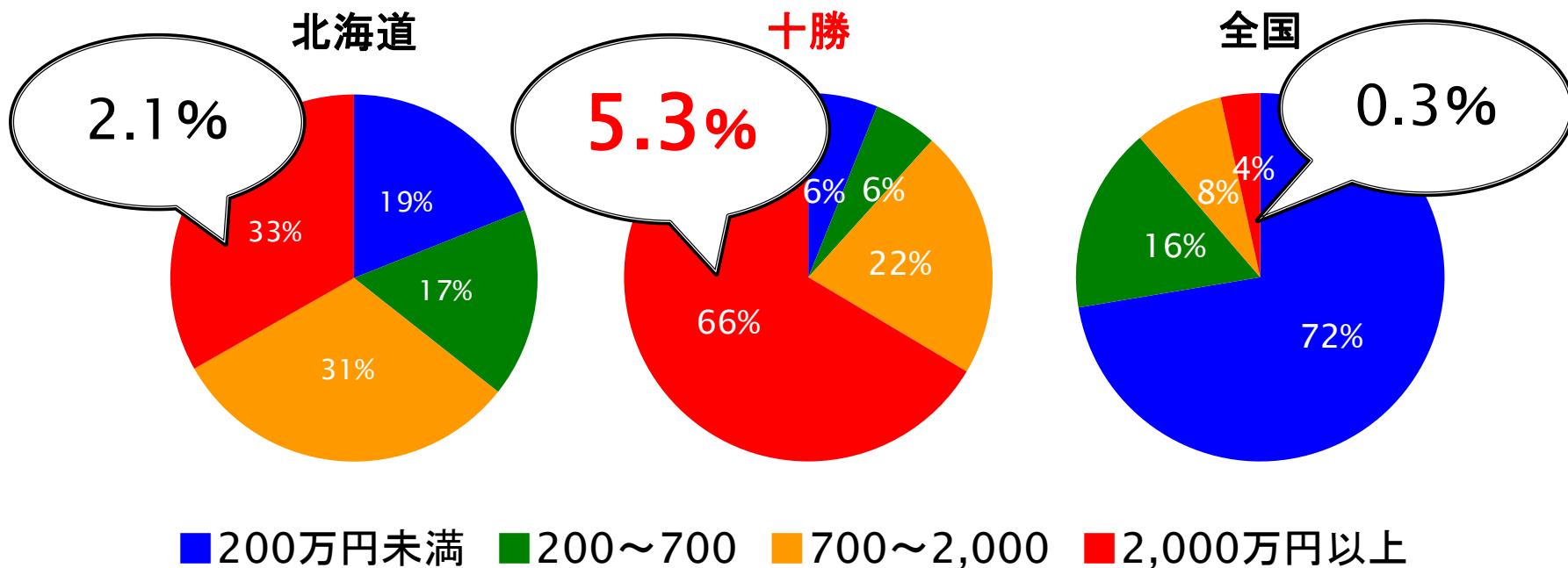


出典: 農林水産省 農林業センサス

つまり十勝は耕作地を有効活用できている！！

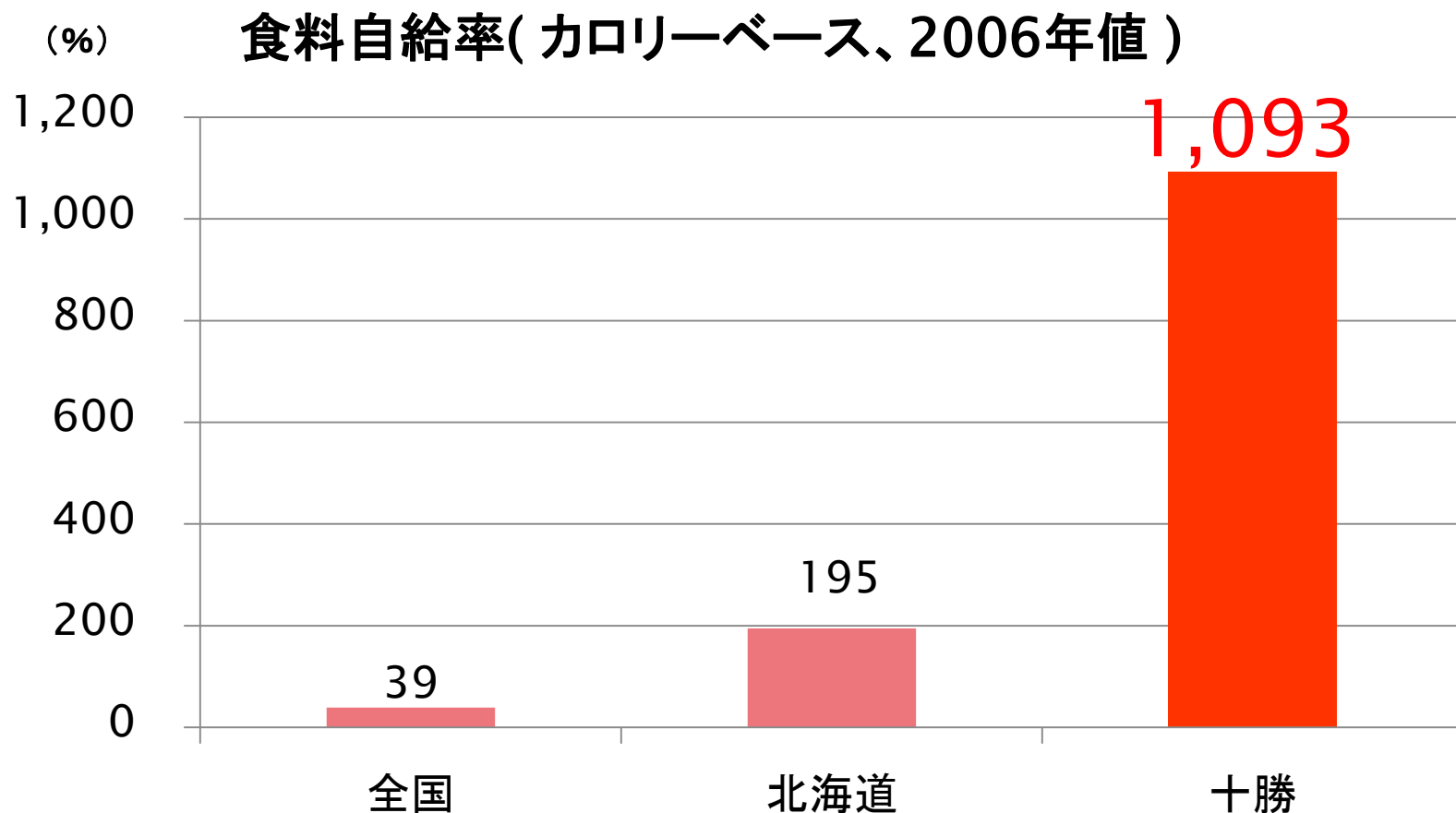
# 農産物販売金額が高い

## ▶ 農産物販売金額規模別経営体数（2010年）



十勝で販売金額が2,000万円以上の経営体は66%！

# 圧倒的な食料自給率



出典：農林水産省、十勝総合振興局

# 十勝の課題

→ 食品加工率が低い！

農業産出額と食料品製造出荷額の比較

		農産物	加工品	
	食料自給率	農業産出額 (億円)	食料品製造出荷額 (億円)	比率(倍)
北海道	約198%	9,946	18,847	1.89
<b>十勝</b>	<b>約1,100%</b>	<b>2,380</b>	<b>2,890</b>	<b>1.21</b>
九州	約48%	16,126	26,680	1.65

出典：帯広市役所 配布資料より

十勝

地域外

十勝で付加価値が創出されない!!!

販売・提供

付加価値・雇用

付加価値・雇用

# 4.十勝の6次産業化事例



# 十勝の事例(1) 水平的な6次産業化の例

## ▶ (株)山本忠信商店

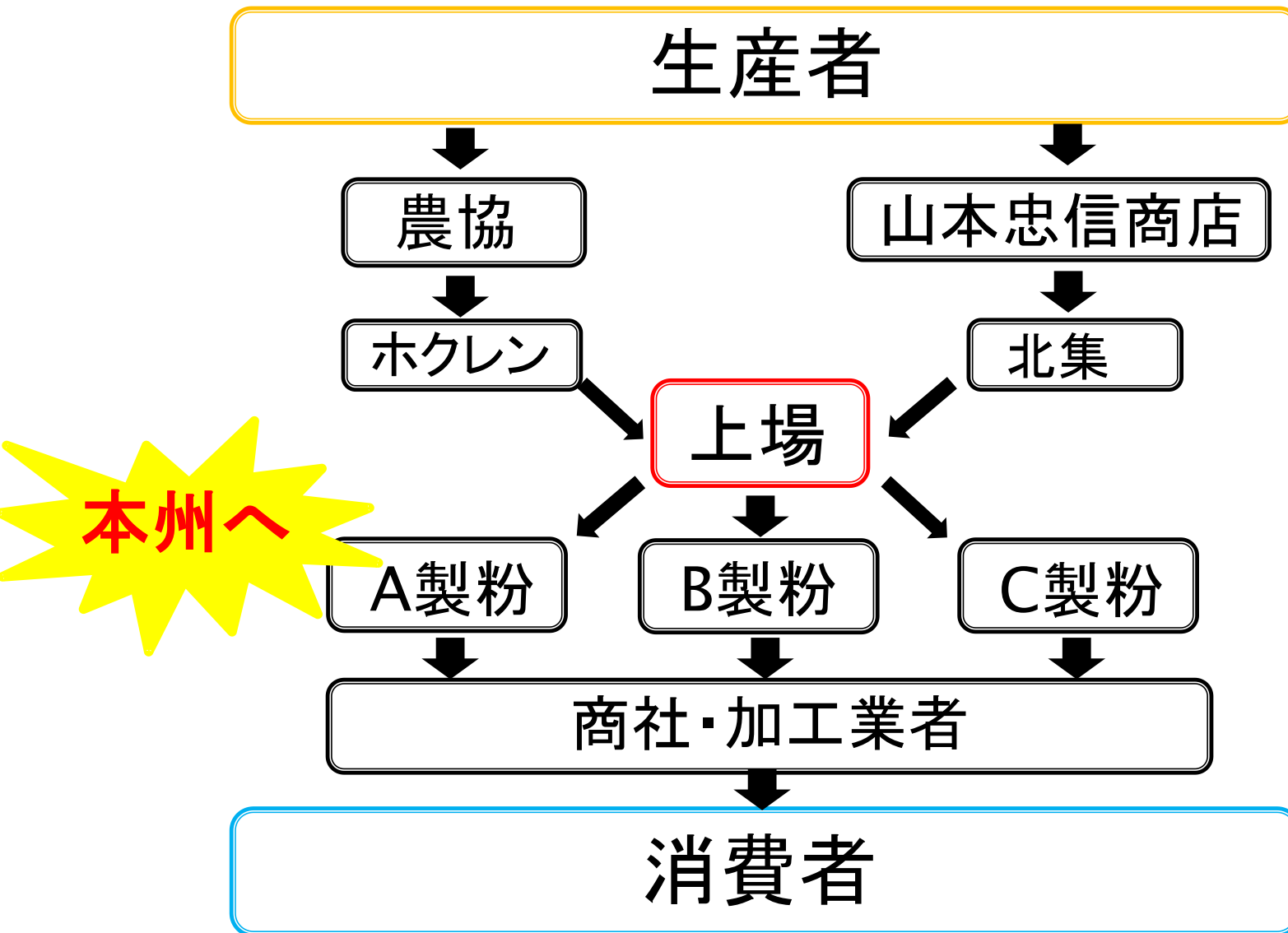
- 代表取締役: 山本 英明氏
- 設立所在地: 北海道音更町
- 設立年: 1960年



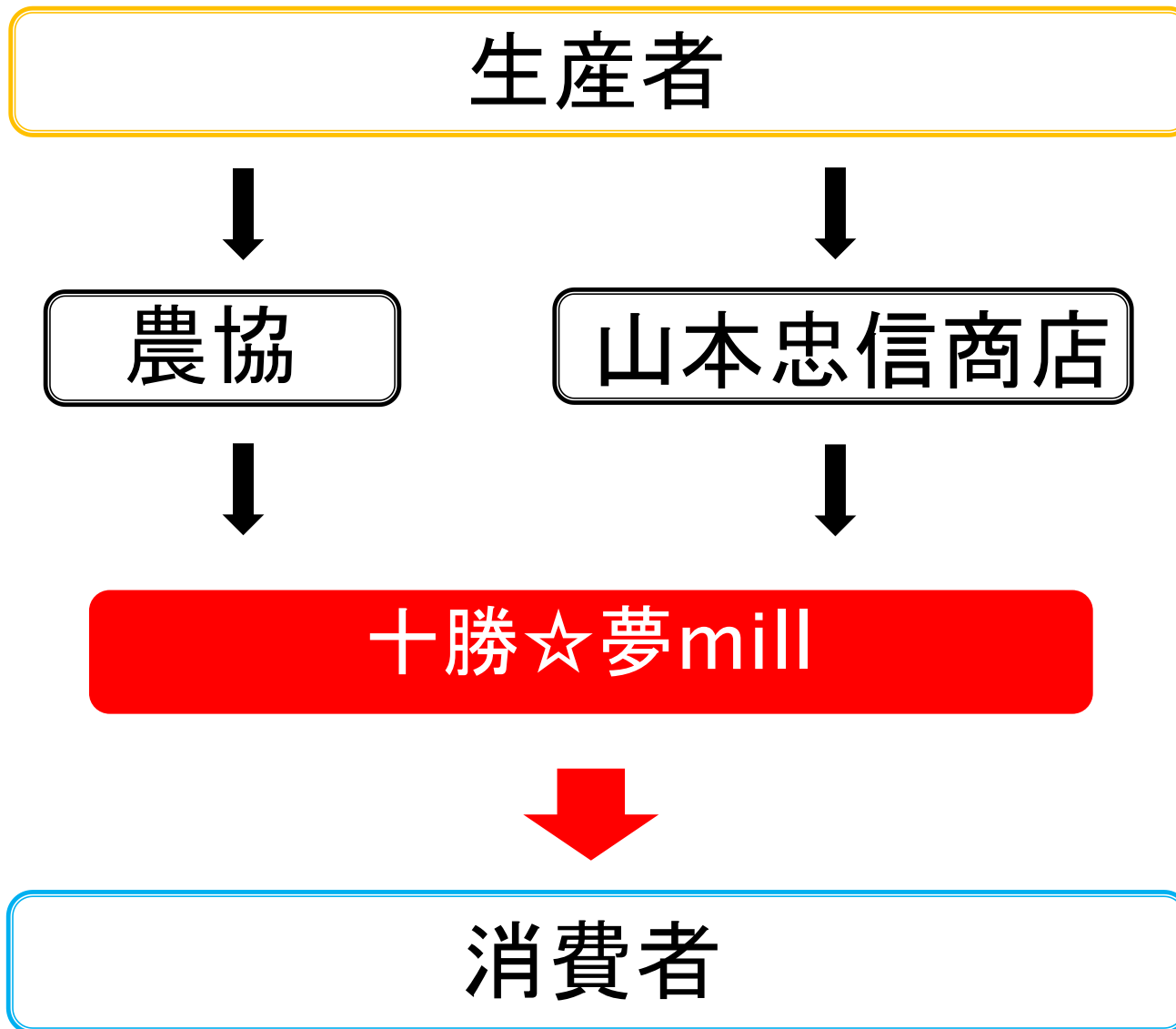
- 豆類・小麦の集荷精選及び卸販売を行う会社。
- 地域の6次産業化の核をめざし、十勝初の製粉工場を作る。

「つくる」を「食べる」のもっと近くに

# 小麦の流通の流れ(一般的)



# 小麦の流通の流れ(十勝☆夢mill完成後)



# 十勝ボロネーゼ



## 皿で十勝を伝えたい

十勝管内のシェフにより開発、シェフの会により発信。

十勝にこだわったパスタ・ソース・トッピングを使用。

十勝というコンセプトの下、各19店舗のオリジナリティーを発揮して提供。

# 十勝の事例(2) 垂直的な6次産業化の例

## ▶ (有)十勝しんむら牧場

- 代表取締役: 新村浩隆
  - 設立所在地: 北海道上士幌町
  - 設立年月日: 2000年6月1日
  - 経営面積: 105ha
- 放牧による酪農業、乳処理業、乳製品加工業、菓子製造業や飲食業を行う牧場。
  - 土壌分析と環境づくりにより、コスト削減・牛乳が良質化



食べる人のための農業を、次世代に継承する

# ミルクジャムとクリームテラス

## ▶ ミルクジャム



## ▶ クリームテラス



牛乳と砂糖だけでシンプルに。

牧場を見てもらうきっかけに。

# 十勝の事例(3)農山漁村の6次産業化の例

## ▶ (株)プロットアジアアンドパシフィック



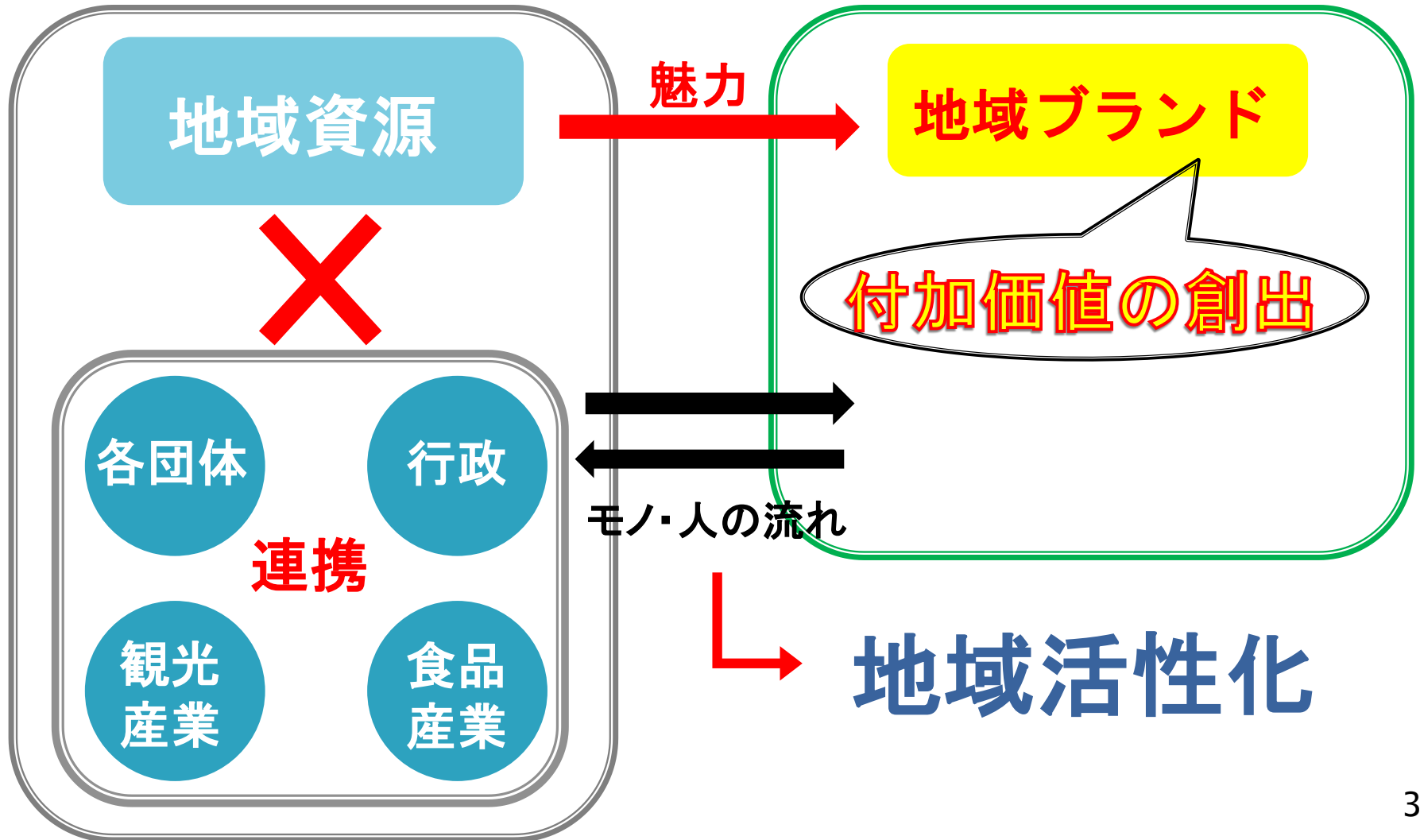
- 代表取締役：後藤 純子氏
- 本社所在地：北海道帯広市
- 設立年月日：2013年4月30日
- 主にアジアの富裕層向けのアグリビジネスを幅広く行う会社。
- 十勝オリジナルのものを海外に発信。

地域とアジア地域、地域内外のつなぎ役

# 地域とアジア地域、地域内外のつなぎ役

## 十勝地域

## アジア地域





# 天空カフェについて

十勝の旬な食材を、旬な場所で楽しもう！

実際に**体感**してもらおう →

地域ブランドの  
**認知度**を高める



# 結果的に...

- 水平的な 6 次産業化の例
  - ・ 山本忠信商店
- 垂直的な 6 次産業化の例
  - ・ 十勝しんむら牧場
- 農林漁村の 6 次産業化の例
  - ・ プロットアジア
  - ・ アンドパシフィック

生産者と消費者が近くなる

付加価値の創造

雇用の増加

地域ブランドの創造

→ 十勝でも 6 次産業化の効果を得られる！

# 5. 政策提言

# なぜ十勝で6次産業化を行うのか？

十勝は有力な大規模農家の割合が高い  
→従来の農業だけで生計を立てられるのに6次産業化は必要なのか？



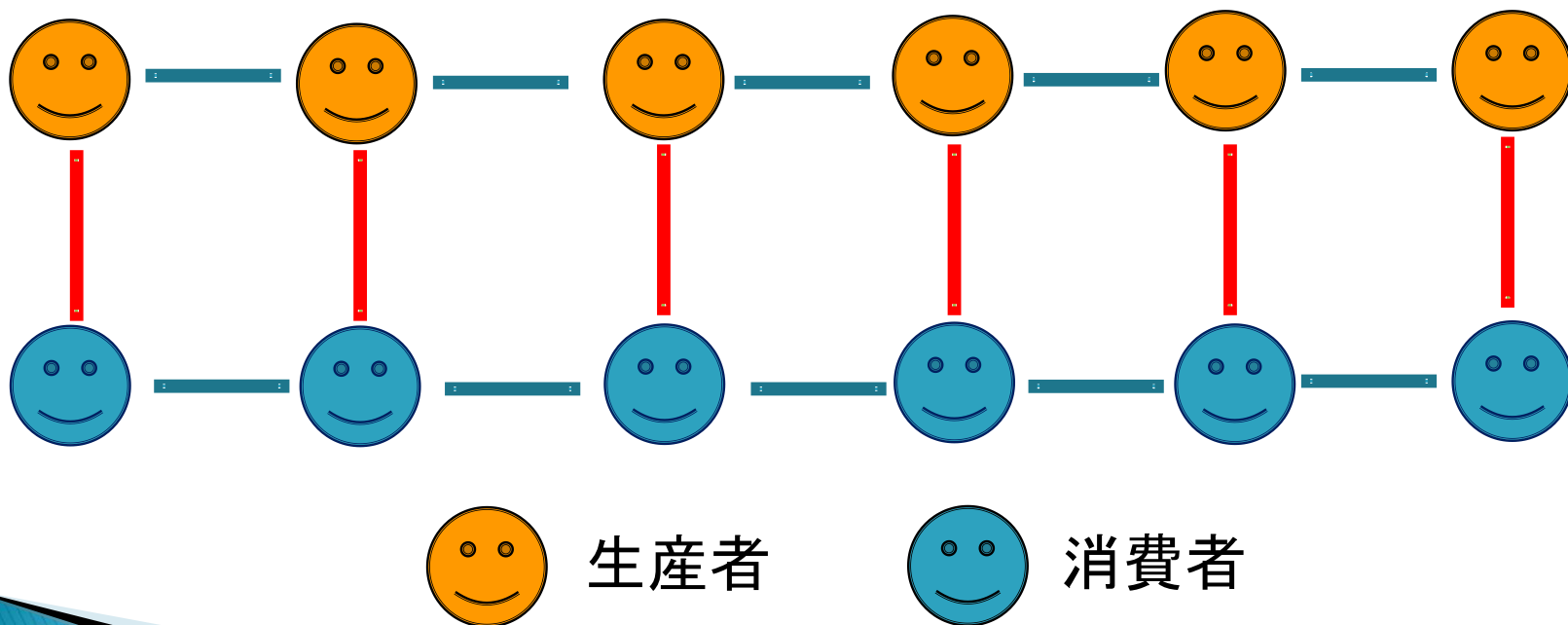
**消費者への意識が欠如している**

有力農家も6次産業化を行うことで  
消費者に目をむける必要がある！

# 地域全体で活性化を目指せ！

6次産業の生産者と消費者の関係を点から線、そして面へ！ つながりこそが地域の活力！

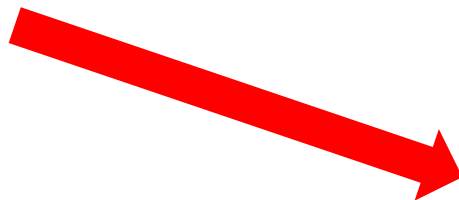
点 → 線 → 面



# 6次産業化を学べる学校in十勝

座学

実習



農家A

農家B

農家C

海外留学

# カリキュラム

1年目

2年目

3年目

農業の応用

食品加工・研究開発

販売・流通（マネジメント）

5

5

3

授業の比率

5

5

7

実習

提携農家での  
見学・体験

より実践的な  
実習  
+  
食品製造実習

総合的な実習

# 効果

1

人口流入の増加

2

6次産業化の  
プロフェッショナルが生まれる

3

農家同士の意識の向上



# 参考文献

今村奈良臣 (1997) 「農業の第六次産業化のすすめ」  
『かんぽ資金』 第234号 10～15頁

斉藤敏明 (2013) 「北海道における六次産業化の現状と今後の展望」  
『農家の友』 第65巻1号 32～34頁

楨平龍宏 (2010) 「農業の「6次産業化」推進に向けた地域農業の課題(その1)」  
『畑地農業』 第624号 2～7頁

楨平龍宏 (2010) 「農業の「6次産業化」推進に向けた地域農業の課題(その2)」  
『畑地農業』 第625号 2～8頁

鈴木宏一郎・澤田篤史・佐々木一誠 (2011)  
「パネルディスカッション 北海道における6次産業化と地域の活性化 (特集 6次産業化)」  
『農家の友』 第578号 37～42頁

金丸弘美(2013) 『実践！田舎力 小さくても経済が回る5つの方法』 5～21頁

田代洋一(2003) 『新版 農業問題入門』 223～224頁

植村振作・河村宏・辻万千子(2006) 『農薬毒性の事典』三省堂 1～3頁

ご静聴ありがとうございました。